



すたペンドリル 慣用句・ことわざ 1

慣

慣用句

昔から使われてきた、2つ以上の単語からなるひとまとまりの言葉のことをいいます。

こ

ことわざとは…古くから言い伝えられてきた教訓や風刺、知識などを含む簡潔な言葉のことです。

体の部分が入っているもの

慣 顔が広い

【意味】友達や知り合いがたくさんいること。

慣 口がかたい

【意味】秘密などを、絶対に人に話さないこと。

こ 口はわざわざいのもと

【意味】うっかり言ったことが災難を招くものになる。言葉には気をつけるべきだということ。

慣 耳がいたい

【意味】自分の弱点への指てきやちゅう告を他人から聞くのがつらいこと。

慣 耳にたこができる

【意味】同じことを何度も聞かされること。

こ かべに耳あり障子に目あり

【意味】かくし事をしようとしても、どこでだれが見たり聞いたりしているか分からないということ。

慣 大目にする

【意味】広い心で、失敗したことをきびしくせめたりしないこと。

慣 目からうるろこが落ちる

【意味】あることをきっかけに、今まで分からなかったことが急に理解できるようになること。

こ 目は口ほどに物を言う

【意味】情のこもった目つきは、口で話すのと同じくらい気持ち表現する。



慣 鼻が高い

【意味】得意な気持ちになること。自まんすること。

慣 目と鼻の先

【意味】目と鼻の間のように、距離がものすごく近いという意味。

慣 腕が鳴る

【意味】自分の能力やうでまえを見せたくてたまらないこと。

慣 足が棒になる

【意味】長い時間歩いたり立ったりして、足が突っばって棒のようになってしまうくらい疲れること。

慣 首を長くする

【意味】望みや期待が、早く実現してほしいと思いつながら待つこと。

こ 頭かくして尻かくさず

【意味】悪いことや欠点などの一部分をかくしたつもりでいても、他の悪い部分などがかくし切れず、外に現れていること。

慣 腰を抜かす

【意味】ひどく驚いて、へなへなと座りこんだり、立ち上がる力をなくしたりすること。



慣 へそを曲げる

【意味】機嫌をそねて意固地になること。

慣 肩を落とす

【意味】がっかりして力が抜け、肩がたれ下がったようになること。